

平成30年3月12日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2018年3月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2018年3月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	好調な生産活動がけん引し、7期連続で上昇。 2期連続10地域全てでプラス水準。
景気の方角	3ヵ月後は、円高懸念からやや弱含む見通し。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。(※)

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

※景気調査では企業を調査対象とする場合が多く、その場合、地域の産業構造に近い形で調査対象企業の業種を分散させる必要がある。実際には、日銀短観を除くほとんどの景気調査で業種分散は考慮されていない。また、企業対象の調査では個人の景況感が反映されていない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL 0584-74-2615】

OKB景況指数（2018年3月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方角
- (3) 調査方法 2018年2月下旬に調査票を配付し、2月末までに回収

調査結果

景気的水準 : 好調な生産活動がけん引し、7期連続で上昇。2期連続10地域全てでプラス水準。

景気の方角 : 3ヵ月後は、円高懸念からやや弱含む見通し。

	景気的水準(2018年3月期)	景気の方角(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は+28.4（前回比+5.6）と、7期連続で上昇、引き続き景気は回復基調。2008年の調査開始以来の最高値となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲3.5と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>自動車産業を中心に製造業がけん引し、東海地域の景気は引き続き堅調。一方で、人手不足や円高、受注の一服感といった懸念材料もある。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では+36.6（前回比+7.0）と6期連続で上昇した。 ・岐阜県では+20.7（前回比+2.7）と8期連続で上昇した。 ・愛知県、岐阜県とも調査開始以来の最高値となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲5.6と「悪化」超 ・岐阜県は▲2.1と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県は自動車関連部品・工作機械などの製造業が好調。受注見通しは好調であるものの、人手不足により対応できないケースも見られる。円高による輸出への影響を懸念する声がある。</p> <p>・岐阜県は自動車関連を中心に製造業が好調。一方、繊維業などは依然厳しく、業種による好不調の差が顕著に。仕事はあるものの、人材の確保難や人件費負担増など人手不足による影響が広がっている。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・2期連続で全地域がプラス水準で、名古屋、西尾張、岐阜、飛騨・郡上の4地域が調査開始以来の最高値となった。 ・前回調査から、名古屋、西尾張、西三河、飛騨・郡上など7地域が上昇した。一方、東尾張、東三河の2地域は低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 該当なし ・「悪化」超 名古屋、東尾張、東三河、西濃
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西尾張地域】 企業業績は良化傾向で、受注や企業活動も安定しており、全体的に“ムード”は良くなっている。ただし、人手不足が続いている。</p> <p>【飛騨・郡上地域】 観光部門（宿泊・新規建設）は好調。土木建設業は受注安定。製造業全般も大きな変化は見られない。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「雇用」が+77.5と人手不足感がより強まっている。「雇用」以外のその他5項目は6期連続上昇しており、特に「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」の3項目は堅調に推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「生産活動」、「設備投資」 ・「減少」超 「個人消費」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：住宅関連が堅調なエリアも見られる。好調な企業活動に比べ、賃金上昇は緩やかとなっており、個人は依然節約志向が続いている。</p> <p>「生産活動」：良好な受注環境を受け、製造業を中心に好調。今後も、受注は良好な見通しだが、人手不足で増産は難しい。</p> <p>「設備投資」：設備更新に加え、自動車関連などで増産や省人化を狙った設備投資に積極的な企業も散見される。</p> <p>「企業収益」：良好な生産活動を受け製造業中心に好調。ただし、人件費・原材料費の上昇、円高等が圧迫要因となっている。</p> <p>「雇用」：全業種で人手不足感が顕著に表れている。新卒・中途ともに採用が困難で、採用できても良い条件の先へ転職するケースも増えており、定着率も低くなってきている。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方角)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気的水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

右記の例の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、最高点が100、最低点が▲100となるように、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気的水準」(2018年3月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し
名古屋	35.3(+11.8)	↘	2.9(+5.9)	↘	38.2(+8.8)	↗	14.7(+2.9)	↗	26.5(+2.9)	↘	2.9(+17.6)	↘	91.2(+5.9)	↗
東尾張	34.0(▲8.0)	↘	16.0(▲4.0)	↔	48.0(+14.0)	↘	42.0(+20.0)	↔	40.0(+22.0)	↘	10.0(+4.0)	↘	78.0(+16.0)	↗
西尾張	33.3(+25.0)	↔	0.0(▲5.6)	↔	33.3(+25.0)	↔	33.3(+36.1)	↗	30.6(+19.4)	↘	2.8(+8.3)	↘	80.6(+27.8)	↗
西三河	62.5(+12.5)	↔	37.5(+12.5)	↔	62.5(▲12.5)	↔	25.0(▲12.5)	↗	75.0(0.0)	↔	37.5(+12.5)	↗	100.0(+12.5)	↔
東三河	16.7(▲16.7)	↘	33.3(+33.3)	↔	0.0(▲33.3)	↔	33.3(+16.7)	↔	16.7(+16.7)	↘	0.0(0.0)	↔	50.0(0.0)	↔
岐阜	26.7(+2.3)	↔	2.3(+1.2)	↗	32.6(+7.0)	↗	18.6(+10.5)	↗	24.4(+7.0)	↗	▲2.3(0.0)	↔	75.6(+15.1)	↗
西濃	11.1(+1.9)	↘	1.9(+1.9)	↘	24.1(▲3.7)	↗	22.2(+7.4)	↗	25.9(+14.8)	↔	▲11.1(▲1.9)	↘	66.7(+7.4)	↗
東濃・可茂	16.7(0.0)	↔	▲22.2(0.0)	↔	16.7(▲11.1)	↔	11.1(0.0)	↗	▲11.1(▲11.1)	↘	▲11.1(+5.6)	↔	77.8(+5.6)	↗
飛騨・郡上	33.3(+16.7)	↔	0.0(+33.3)	↔	50.0(+50.0)	↔	33.3(+50.0)	↔	16.7(0.0)	↔	▲16.7(0.0)	↔	66.7(+16.7)	↗
桑名・四日市	50.0(+33.3)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(0.0)	↔	33.3(+16.7)	↔	33.3(+16.7)	↔	▲16.7(0.0)	↔	83.3(+33.3)	↔
愛知県(5地域)	36.6(+7.0)	↘	12.0(+1.4)	↘	41.5(+10.6)	↗	31.0(+16.2)	↗	37.3(+14.1)	↘	9.2(+9.2)	↘	83.1(+15.5)	↗
岐阜県(4地域)	20.7(+2.7)	↘	▲2.7(+3.2)	↔	28.2(+3.2)	↗	19.1(+10.1)	↗	17.6(+5.3)	↔	▲7.4(+0.5)	↘	72.9(+11.2)	↗
三重(1地域)	50.0(+33.3)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(0.0)	↔	33.3(+16.7)	↔	33.3(+16.7)	↔	▲16.7(0.0)	↔	83.3(+33.3)	↔
全地域	28.4(+5.6)	↘	3.5(+2.3)	↘	34.5(+6.1)	↗	24.6(+12.9)	↗	26.3(+9.4)	↘	▲0.9(+4.1)	↘	77.5(+13.7)	↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 見通しは『図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」』の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↘、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2018年6月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」				
名古屋	▲5.9	▲5.9	17.6	11.8	▲11.8	▲5.9	47.1
東尾張	▲8.0	0.0	▲8.0	0.0	▲4.0	▲8.0	24.0
西尾張	0.0	0.0	0.0	11.1	▲22.2	▲5.6	22.2
西三河	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
東三河	▲33.3	0.0	0.0	0.0	▲33.3	0.0	0.0
岐阜	0.0	4.7	4.7	9.3	4.7	0.0	25.6
西濃	▲7.4	▲7.4	3.7	18.5	0.0	▲7.4	40.7
東濃・可茂	0.0	0.0	0.0	11.1	▲11.1	0.0	55.6
飛騨・郡上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
桑名・四日市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲5.6	▲1.4	1.4	8.5	▲11.3	▲2.8	25.4
岐阜県(4地域)	▲2.1	0.0	3.2	11.7	0.0	▲2.1	36.2
三重(1地域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全地域	▲3.5	▲0.6	2.3	9.9	▲4.7	▲2.3	30.4

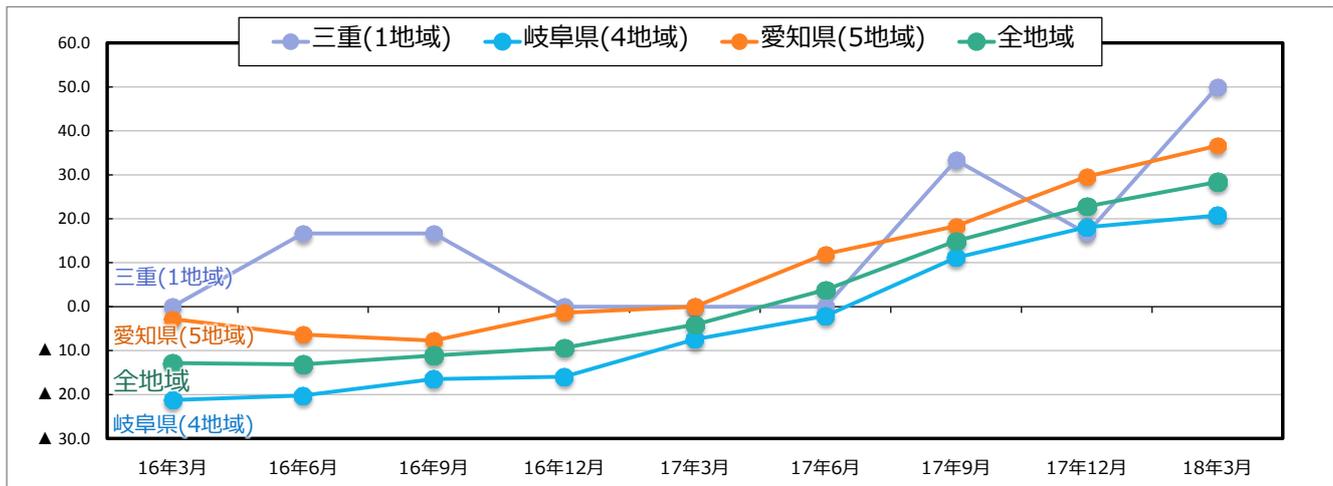
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気的水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

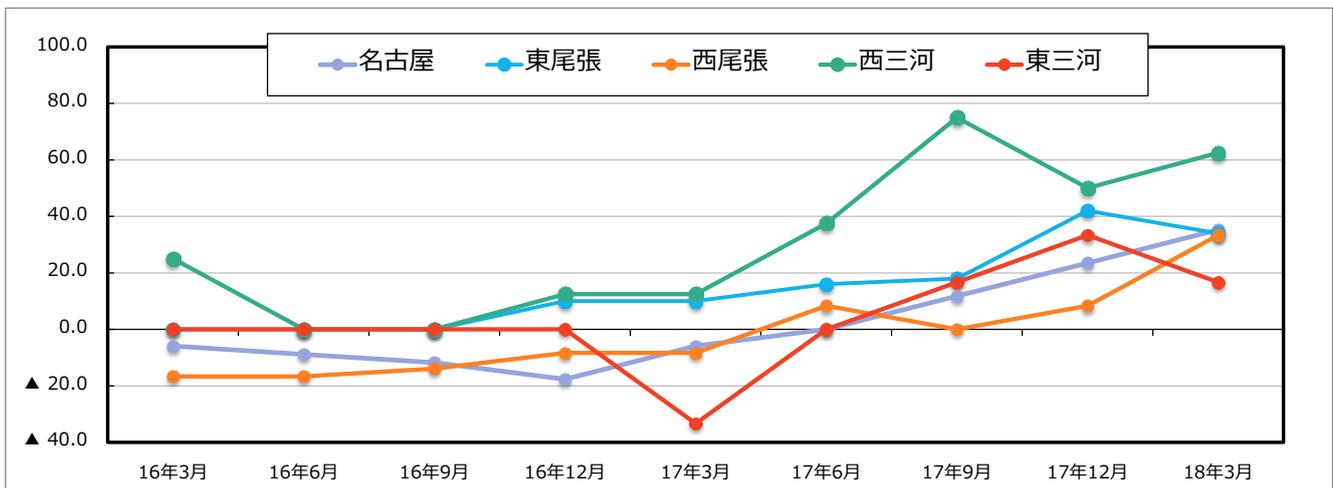
「景気の水準」の推移

■ 県別

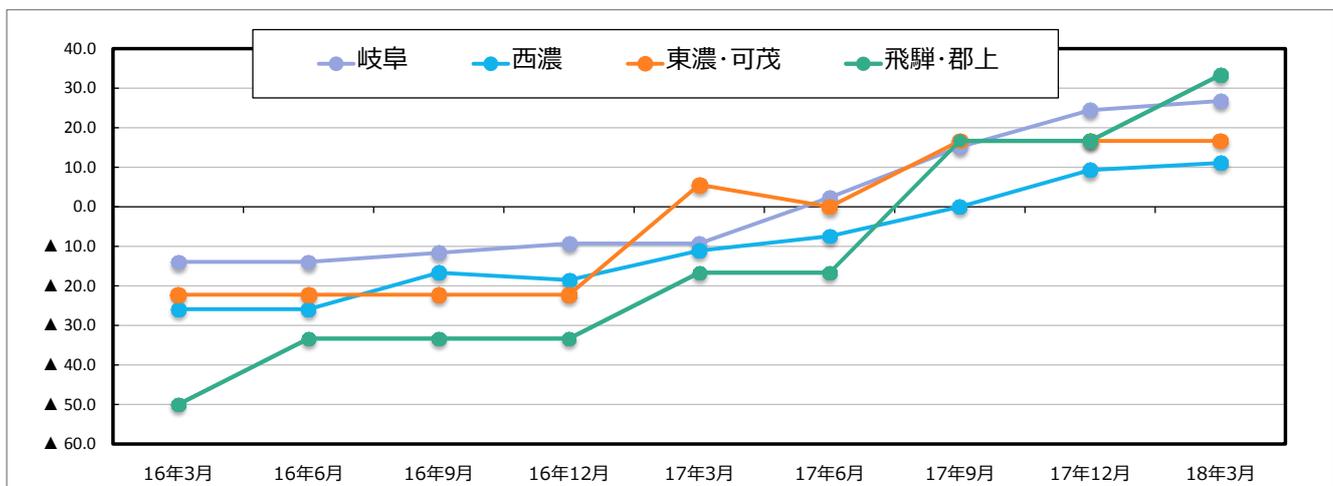


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上